

# 第2回協議会の主な意見と計画素案（骨子）への反映

資料3

主な意見	計画素案（骨子）への反映
● 観光振興等と連携した施策をあげられると良い。	(両計画) ● P17 ③観光振興と連携した公共交通事業の取組において整理しました。
● 資料では路線バスが中心で、鉄道や福祉輸送、観光輸送などその他の交通モードが見えてこない。地域の各公共交通機関の機能分担、役割、位置づけを比較できるような形で記載したほうが良い。	(両計画) ● P9 「エリア内における地域公共交通の位置づけと役割分担」において整理しました。
● 週末や連休等は交通渋滞が発生している。CO2削減のため環境に優しいバスを使うなどをアピールして、来訪時に地域公共交通を利用する観光客を増やすような施策が良い。	(両計画) ● P16 ①路線バスの利便性向上に資する取組／新たな取組の推進において、「環境対応車両の導入」を記載しました。
● 週末や連休等の交通渋滞時において、もっと各交通機関が連携すれば、公共交通機関を使って移動される方が増え、渋滞も減るのではないか。	(両計画) ● P17 ③観光振興と連携した公共交通事業の取組において、「交通事業者間の情報連携の推進」を記載しました。
● 交通渋滞に関して、渋滞状況に応じた対策をしてほしい。	(あきる野・檜原計画) ● P12 地域旅客運送サービスの現状と課題として、公共交通需要利用特性において、「観光シーズン・イベント時に多発する交通渋滞」を記載しました。 ● P17 ③観光振興と連携した公共交通事業の取組において、「観光客のマイカー利用抑制のための検討・情報発信」として整理しました。
● 今後は定量的な数値目標の設定も必要となってくる。数値算出の考え方、評価のタイミングについて計画に記載する必要がある。	(両計画) ● P15 数値指標と目標値において、定量的な数値目標を設定しました。 ● P19 計画達成状況の評価について整理しました。